

玉川上水緑道

(玉川上水駅から拝島駅まで)

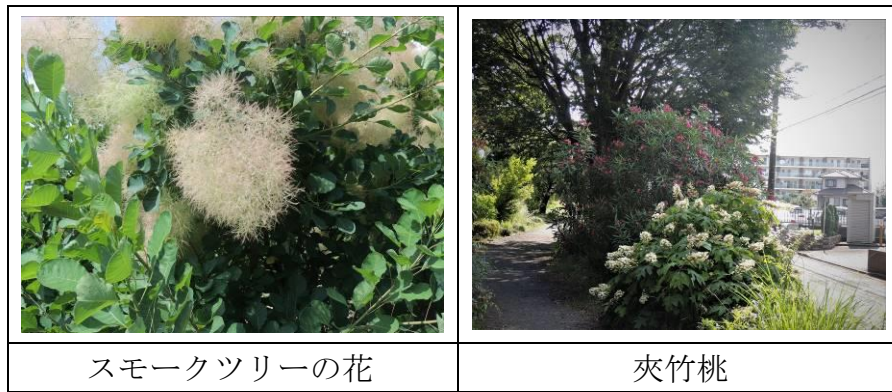
6月25日 (火) 晴れ

- ★ 6月7日に梅雨入りしてから梅雨空が続いていたが、前日までの雨が上がって久しぶりの青空である。メンバーの中に強力な「晴れ男」(晴れ女?)がいるらしい。
- ★ 玉川上水駅に降り立ったのは男性9人、女性4人の計13人、時間は午後1時20分を少しまわっていた。玉川上水駅は西武拝島線と多摩モノレールの乗り換え駅となったので大変立派な駅舎となっている。東京都の資料によると玉川上水駅の前に「清願院橋」があるが、駅前ロータリーになっていて橋は見当たらない。
- ★ 玉川上水緑道はほぼ西武拝島線と並行して流れている。玉川上水駅の近くで野火止用水が分かれているので、それより下流では川幅も狭く、水量も少ないが、上流では川幅が広くしっかりした護岸になっていて、水量も多い。緑道はケヤキやコナラの大木が生い茂っているため、木漏れ日を浴びながらの散策は気持ちが良い。特にこの日は風があつて気持ち良かった。



- ★ 緑道には多くの花が咲いている。この季節の代表的な花・紫陽花はいたるところに咲いているが、色も青、紫、赤紫、白などと多様であるし、形もアジサイ(ホンアジサイ)、ガクアジサイなどこれも多種多様で面白い。ヒメジョオンは雑草と思いがちだが群生していると実に美しい。沿道の畑に高さ2mほどの木に薄茶色のもやもやしたものが付いているのを見つけた。近寄ってみると枝先に円錐状の花序を出して、花径3~5mmほどの小さな花を多数咲かせている。遠くから見ると煙のように見えるので「スモークツリー」というそうである。今年季節の進み方が早く、花々も例年より早く咲き出すようである。盛夏の頃に咲くと思っていた夾竹桃がもう咲いていた。この日見たのは、名前が分かるものだけでもアジサイ、ガクアジサイ、カンゾウ、ホタルブクロ、ギボシ、スモークツリー、ネジバナ、ドクダミ、ナンテン、アカツメクサ、ヒメジョオン、

夾竹桃などである。



★ 武蔵砂川駅の少し先に玉川上水と残堀川がほぼ直角に交わる所がある。かつて残堀川は玉川上水に合流していたが、明治時代になって川が汚れてきたため、玉川上水の下を潜らせて多摩川に放流するように改修された。その後残堀川の洪水対策として、サイホンの原理を応用した「ふせこし」と呼ばれる工法で再改修され、現在では残堀川の下を玉川上水が潜っている。玉川上水にかかる橋はいくつか渡ったが、ここでは残堀川にかかる「すずかけ橋」を渡った。



★ 玉川上水駅からのんびり歩いて約3時間、4時15分頃拝島駅に到着した。田無駅まで戻って駅前の「日本海庄や」で渴いた喉を潤し、午後7時過ぎに解散となった。

ベテラン俳人の穴を新人が埋めてくれました。

紫陽花が ところかしこに 木陰道

木洩れ日の 上水の土手 草刈られ

金子正男

緑道に 日傘ならびて 歩みをり

辻 直邦

立葵 すくと伸びて 青い空

せせらぎの 木漏れ日揺れて 額の花

水野瑞泉

参加者 金子正男、河合宏則、小島恕雄夫妻、辻 直邦、野本瑩一、原田一彦、
水野聰夫妻、水野博司、安村長生、臼井静江、中村仁美 以上 13 名

写真と文 小島恕雄